

2015年10月13日



≪ 預金取扱等金融機関 初認定 ≫
**「ろうきん森の学校」が国連生物多様性の10年日本委員会
 (UNDB-J) 連携事業に認定されました**

「森を育む」、「人を育む」、「森で遊ぶ」を柱にNPO法人や地域とともに事業を展開している「ろうきん森の学校」は、日本の里山再生をテーマに労金連が活動資金を支援し、NPO法人ホールアース研究所を主管団体として、取り組んでいるCSR活動です。

2005年度から、長期にわたって継続的に活動に取り組んできた「ろうきん森の学校」は今般、「国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)」が推奨する連携事業に認定されました。

「国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)」は、2010年10月に生物多様性条約第10回締約国会議(愛知県名古屋市)で採択された新たな生物多様性に関する世界目標である「愛知目標」の達成を目指し、国内のあらゆるセクターの参画と連携を促進するために設立されました。そして、生物多様性の主流化に向けた取組みの一環として、各地で実施されている生物多様性の保全と持続可能な利用に関する様々な事業から、UNDB-Jが推奨する連携事業を認定しています。

UNDB-Jの連携事業に認定されたことを受け、ろうきんのCSR活動を紹介するため2015年度下期中に新たに開設予定のWebサイトを活用し、日本の里山再生や生物多様性の保全等の普及啓発にも積極的に貢献したいと考えています。



この事業は
 「国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)」
 が推奨する事業として認定を受けています。

岐阜地区「ろうきん森の学校」開校、いよいよ活動を本格化します！



(岐阜地区の活動風景)

「ろうきん森の学校」は2015年度から第Ⅱ期がスタートし、新たに2地区が加わりました。5月17日に開校した新潟地区に続いて、この度、岐阜地区が10月17日に開校式を行います。

岐阜地区の運営を担うのは、「古城山環境保全モデル林」(岐阜県の「環境保全モデル林」整備事業地域)および「新田の森」を主たる活動エリアとして、豊かな森の恵みを活用したプログラムを実践している「NPO法人グリーンウッドワーク協会」(所在地：岐阜県美濃市、理事長：小野敦)です。

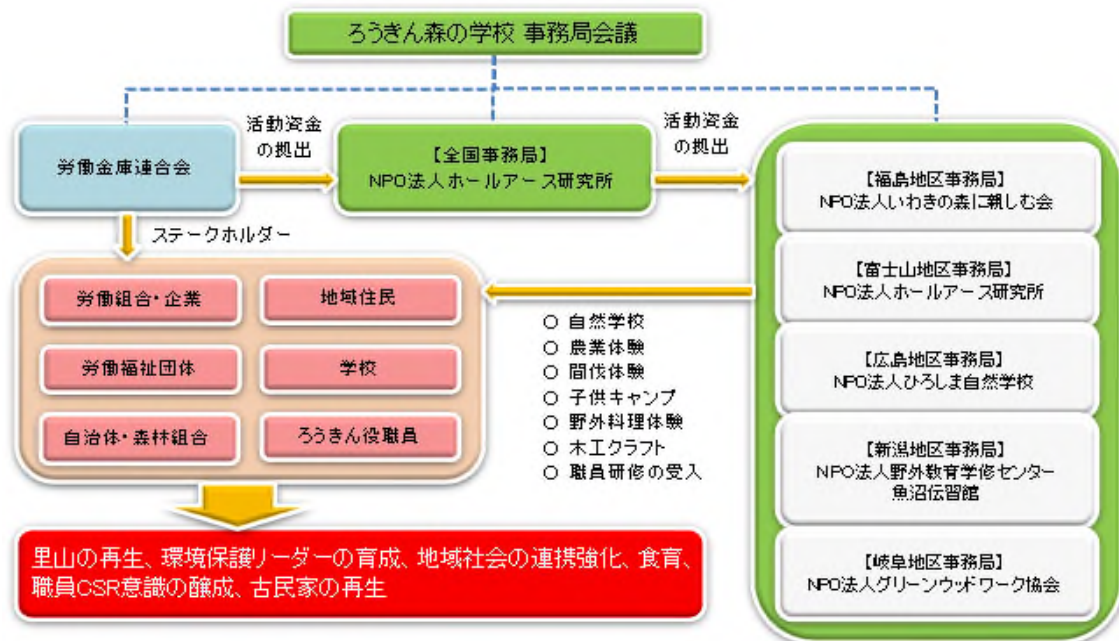
グリーンウッドワーク協会は、森から切ったばかりの生木を加工して生活用品などを作るグリーンウッドワークを通して「もの作りの場、生物多様性を学ぶ場、森と人との共生を図るための場」を提供しています。

(裏面に続きます)

労働金庫連合会は、働く人のための福祉金融機関<ろうきん>の系統中央金融機関です。

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-5-15 <http://www.rokinren.com/>

「ろうきん森の学校」実施体制図



【新潟地区】

新潟県(南魚沼市)
現地事務局
NPO法人 野外教育学修センター-魚沼伝習館

【岐阜地区】

岐阜県(美濃市)
現地事務局
NPO法人 グリーンウッドワーク協会

【広島地区】

広島県(山県郡北広島町)
現地事務局
NPO法人 ひろしま自然学校

【福島地区】

福島県(いわき市)
現地事務局
NPO法人 いわきの森に頼む会

【富士山地区】

静岡県(田貫湖、柚野)
現地事務局
NPO法人 ホールアース研究所

● 2005年～

● 2015年～

〈ろうきん〉では活動内容や今後の予定を地区ごとにホームページで紹介しています。

「ろうきん森の学校 ホームページ」

<http://www.mori-gakko.net/>

「グリーンウッドワーク協会 ホームページ」

<http://www.greenwoodwork.jp/>

「本件に関するお問合せ先」労働金庫連合会 総合企画部

担当：大谷・笠松 (TEL03-3295-9332)